

リーディングDXスクール事業 【実践事例】

山梨県甲州市立塩山南小学校

【取組内容】 WEBサイト作成ツールを使っでの校務DX加速化

4つのサイトを活用！サイトへ集約して、使いやすさ、働きやすさアップ！

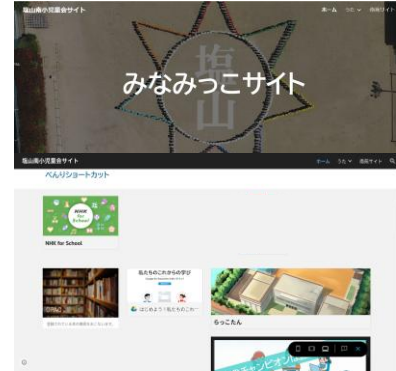


①教職員サイト

○週案、健康観察、起案、職員会議資料、年度始め資料、デジタル教科書、校内Meetリンクなどの校務に関わるものが全て集約されている。

○「何かするときは、いつもこのサイトから」、サイトが教員のプラットフォーム化しており使いやすく校務DXが加速化している。

○研修ページなどを設けて、有益なサイトを集めて、自主研究できるようにしてある。



②児童サイト

○Googleのソフトウェアや委員会からのお知らせ、たてわり班、委員会名簿、お悩み相談フォーム、図書室の蔵書検索機能など児童が学校生活で使うものは全て集約されている。

○どの学年の児童も使いやすいように、アプリのイラストなど視覚的にリンク先がわかるようになっている。

○どの児童も同じところから始めるので教員も指導しやすい。



③保護者サイト

○学年だよりなどの学校からの配布物は基本的にサイトへアップのみ。教員の印刷や配布の時間を削減されている。

○欠席連絡や緊急問い合わせフォームが載っており、保護者も学校への連絡がいつでも、どこでもできる。

○保護者はいつでも、どこでも配布物や学校からの情報を確認ができる。

○長期休みの作品募集課題などの要項の確認やGoogleカレンダーによる個人懇談の予約もこのサイトからできる。



④校内研究サイト

(画像にリンク添付)

○研究成果や課題などを研究紀要としてサイトへ集約している。研究授業の動画も載せることができるので、本校の研究をわかりやすくまとめることができる。

○紙での作成の手間を削減できる、さらにリンクを伝えることで本校の研究内容の共有も容易になっている。

4つのサイトの効果について

- サイトを教員も子どもも「全ての入口」として活用することで、校務DXの加速化がなされた。
- 保護者や外部の方が学校の情報を時間や場所を選ばずに確認ができるようになった。
- 印刷や配布、綴じ込みの作業が大幅に削減され、働き方改革にもつながっている。